



トンガ王国

Kingdom of Tonga

2007年12月現在



一般事情

- 1.面積 700平方キロメートル(対馬とほぼ同じ。世銀)
- 2.人口 99,298人(2006年、太平洋共同体事務局)
- 3.首都 ヌクアロファ(トンガタブ島、2.5万人)
- 4.民族 ポリネシア系(若干マイクロネシア系が混合)
- 5.言語 英語(公用語)の他、トンガ語を使用
- 6.宗教 ほぼ100%キリスト教
- 8.通貨 パ・アンガ(T\$)
為替レート 1パ・アンガ = 0.4987米ドル(2006年11月)
補助通貨単位 100セニティ = SENITI

9.査証(ビザ)

- 10.在留邦人数 48名(2006年11月現在)
- 11.在日当該国人数 122名(2006年11月現在)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 676 国際通話コード 9

- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)
税率 - %
製造数量 - (百万本/年)
シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

15.略史

年月	略史
1616年	オランダ人、北方の二島発見
1845年	キリスト教徒のトゥポウ一世がトンガを統一
1900年	英国の保護領となる
1970年6月4日	英国より独立

- 16.在外大使館・領事館 なし

- 17.駐日大使館・領事館 なし

政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主国家
- 2.元首 国王 ジョージ・トゥポウ5世
(George Tupou V)(2006年就任、世襲)
- 3.議会 一院制 議員は議長及び閣僚(国王が任命、現在10名)、
ハアバイ諸島・ババウ諸島両知事、貴族議員9名、平民議員9名に
- 4.政府 (1)首相 フェレティ・セベレ(Feleti Sevele)
(2)外相 ソナタネ・トゥポウ(Sonatane Tupou)
- 5.内政

立憲君主国であるが、実質的に国王の大きな権力の下で国政が行われている。

議会は貴族代表及び平民代表で構成されている。

2000年1月にバエア前首相が辞任し、国王が自身の三男ウルカララ王子(当時外相)を12月2002年3月に行われた総選挙においては、首都のあるトンガタブ島で民主化推進派が斗いまた、王室の特権的立場に対する不満を背景に、同年5月に民主化グループが国王に7月には、公務員給与の引き上げ要求がきっかけとなり、6週間に亘り全国的な公務員t現在、33家ある貴族の間で選出する議員と一般の平民の間から選出する議員が9人ず現在、閣僚の任命は国王の任意による

2006年2月、ウルカララ首相が辞職し、3月末、トンガ史上初めて平民出身のセベレ首相同年11月、首都ヌクアロファで暴動が発生し、政府庁舎や商店等が破壊され、7名の死tトンガ政府は、国内治安体制強化のため豪州及びニュージーランド政府に対し、軍及び現在もトンガ、豪州及びニュージーランドが共同で治安維持にあたっているほか、事件の

外交・国防

1. 外交基本方針

(1) 英連邦諸国、特に宗主国たる英国とは緊密な関係維持。
国連専門機関への加入に積極的。南太平洋の域内協力の推進。

(2) トンガは台湾と外交関係を有していたが、1998年11月2日、台湾との関係を終了し、

2. 軍事力

(防衛よりむしろ治安維持に主眼)

歩兵部隊、近衛部隊、海軍等で構成されており、その規模は非常に小さい。
国防費は国家予算の4.5% (2001年度)。

なお、2004年6月米軍の後方支援のため、44名の兵士をイラクに派遣。

経済

1. 主要産業

農業(コブラ、やし油、かぼちゃ)

2. GNI

223.7百万米ドル(2005年、世銀)

3. 一人当たりGNI

2,190米ドル(2005年、世銀)

4. 経済成長率

1.6%(2004年、世銀)

5. 物価上昇率

11.0%(2004年、ADB)

6. 失業率

最近の統計なし

7. 総貿易額

(1) 輸出 37.3百万パ・アング(2003年、ADB)

(2) 輸入 201.7百万パ・アング(2003年、ADB)

8. 主要貿易品目

(1) 輸出 かぼちゃ、魚類、バニラ、カヴァ

(2) 輸入 食料、飲料、家畜、機械・機器、燃料、石油製品

9. 主要貿易相手国

(1) 輸出 日、米、NZ、豪、フィジー

(2) 輸入 NZ、豪、フィジー、米、日

10. 通貨

パ・アング(T\$)

11. 為替レート

1パ・アング = 0.4987米ドル(2006年11月)

12. 経済概況

失業率の増加が慢性的状況。

財政状態は恒常的に海外援助及び出稼ぎ者からの送金に大きく依存。

政府は新しい輸出商品作物の開発に熱心で、既に成功しているかぼちゃに次ぐ産品

経済協力

1. 我が国の援助実績

	2004年度	2004年度までの累計
(1) 有償資金協力	なし	なし
(2) 無償資金協力	10.90億円	15.35億円
(3) 技術協力	2.88億円	78.15億円

2. 主要援助国

(百万米ドル、2002年、DACベース)

(1) 豪(6.2)、(2) 日本(4.9)、(3) NZ(3.8)

二国間関係

1. 政治関係

伝統的に親日的。経済・技術協力が増大し、緊密化。

2. 経済関係

(1) 対日貿易(2004年、財務省)

(イ) 貿易額

輸出 15億円

輸入 3億円

(ロ) 主要品目(%)

輸出 かぼちゃ、魚介類

輸入 自動車、機械機器

(2) 我が国からの直接投資なし

3. 文化関係

(1) 文化遺産の保存及び教育振興のための器材購入援助

(2) 音楽教育振興のための援助

4. 在留邦人数

48名(2006年11月現在)

5.在日トンガ人数 122名(2006年11月現在)

6.要人往来

(1)往(1990年以降)

年月	要人名
1990年	APPU 降矢、中山、谷議員
2001年	小島外務大臣政務官
2003年	秋篠宮同妃両殿下
2005年	福島外務大臣政務官
2006年	皇太子殿下(故トゥポウ4世の国葬御参列)

(2)来(1982年以降)

年月	要人名
1982年	国王
1983年	トゥポウトア外務・国防大臣(外務省賓客)、トゥイタ副首相
1984年	トゥポウトア外務・国防大臣
1985年	国王、トゥポウトア外務・国防大臣
1986年	国王
1987年	トゥイタ副首相
1988年	カバリク教育・建設・航空大臣、トゥポウトア外務・国防大臣 バエア副首相代行(外務省賓客)
1989年	トゥポウ四世国王・王妃、バエア労働・商業・産業大臣(大喪の礼)
1990年	バエア副首相代行(花博賓客)、トゥポウトア外務・国防大臣 ピロレブ王女(即位の礼)
1992年	国王、トゥポウトア外務・国防大臣
1994年	ファカバメイリク副首相兼教育・公共事業・民間航空相(国際防災 国王、トゥポウトア外務・国防大臣、バエア首相(ITU会議))
1995年	国王、トゥポウトア外務・国防大臣、トゥポウ四世国王・王妃
1996年	パウンガ労働通商産業観光大臣
1997年	バエア首相(第1回大洋州・島サミット及び非公式) パウンガ労働通商産業観光大臣
1998年	バエア首相(南太平洋総合展出席)
2000年	ウルカララ首相(第2回太平洋・島サミット、FAOアジア太平洋地域 トゥポウ4世国王・王妃、カバリク副首相兼教育・民間航空大臣 パウンガ労働通商産業観光大臣)
2001年	バイクネ国会議長、パウンガ労働通商産業観光大臣 ピロレブ王女、トゥポウトア皇太子
2002年	ナナシパウウ王女
2003年	トゥポウトア皇太子、フイエラケバ土地調査・天然資源大臣(水フォ ウルカララ首相(第3回太平洋・島サミット))
2004年	ウルカララ首相、ウィリアミ保健大臣
2006年	トゥポウトア皇太子、セベレ首相(第4回太平洋・島サミット)
2007年	タンギ副首相兼保健大臣

7.二国間条約・取極

青年海外協力隊派遣取極(1972年)

8.外交使節

(1)駐トンガ日本国大使

滑川雅士駐フィジー大使が兼任。

(2)駐日トンガ大使

任命されていない。



コンセント・タイプ

こより構成

首相に任命した。
P民代表全議席を獲
嘆願書を提出するた
ゼネストが実施された
つとなっている

I代行が首相に正式
者が出た。
警察の派遣を要請し
の捜査、ヌクアロファ

中国との外交関係を

。

の開発に向けて市場

)

(会議)

(総会)

オーラム)
